

市立旭川病院

医療連携NEWS

患者さん中心の医療を行い、市民から信頼される病院を目指します。

新年ごあいさつ



旭川市病院事業管理者
市立旭川病院 院長 青木 秀俊

新年あけましておめでとうございます。

新たな年の初めを迎え、皆さまには輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃より当院の医療連携にご配慮、ご理解いただきまして誠にありがとうございます。

さて、地域医療を取巻く環境は相変わらず厳しいものがありますが、そのような中であって、当院では昨年1月に電子カルテの導入、4月には夜間小児一次救急のセンター化、さらに9月には病院機能評価の受審(3回目)、手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)の導入など、公的中核病院として地域医療体制の確保及び医療水準の向上を図ったところであり、今後においても良質で安全な、かつ急性期医療の提供に努めて行きたいと考えております。

近年、少子高齢化の中、国においては持続可能な社会保障制度の確立に向け医療制度改革も行われようとしていますが医療提供体制については、地域医療ビジョンに基づき医療機関の機能の分化・連携を進め、機能に応じて入院医療の強化と在宅医療、介護サービス提供体制を充実させ、地域の中で医療と介護サービスが一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築することとされています。

そのような新医療体制の下で自治体病院がどのような役割を担っていくのか慎重に検討していかなければなりませんがいずれにしても、地域医療機関の皆様との連携が不可欠であり、病院と診療所がそれぞれの役割を十分に果たすことができるよう地域の体制を整えて、より一層連携を深めることが必要と考えております。

当院も、その体制を支える柱の一つとして信頼されるよう努めてまいりますので今後ともよろしく願い申し上げます。

最後になりますが、皆さま方にとって2015年が素晴らしい1年であることをご祈念申し上げ新年のごあいさつとさせていただきます。

《基本方針》

- 1 高度医療を担い、安全で質の高い医療を提供します。
- 2 地域の病院・診療所と連携し、地域医療の向上に努めます。
- 3 救急医療を担い、市民に安心な医療を提供します。
- 4 公共性を確保し、健全な病院経営に努めます。
- 5 教育研修を充実し、人材育成に努めます。



～各診療部門のご紹介～

眼科

当科は昭和58年に開設されました。現在の常勤医は1名で、金曜日は旭川医大からの出張医とともに外来診療を行っております。入院ベッド数は5床、手術は主に白内障で市内の病院から紹介された患者さんを毎年200件ほど行っております。全身麻酔下での白内障手術も増加傾向にあります。

日本眼科学会の認定施設です。

スタッフ紹介



菅野 晴美
(診療部長、昭和63年旭川医科大学卒)

ドクターズゴルフに参加させていただいて、知り合いの先生がたくさん増えました。
日本眼科学会専門医

外来担当表

曜日	月	火	水	木	金
担当	菅野	菅野	休診 (手術)	菅野	菅野、 出張医

* 受付時間
水曜日休診
月・火・木・金曜日 8:00～11:30
月曜日 13:00～15:00

総合内科

臓器別専門分化が進む一方で、患者の話を傾聴し、全身をバランス良く診察して全人的アプローチをする科も必要と考えられ、総合内科は2014年10月に新設されました。

風邪や胃腸炎などのcommon diseaseや健診で異常を指摘された方など、「よくある病気の診療」を行う傍ら、体調は悪いが受診科がわからない、病院に紹介したいけれどどこに紹介したらいいかわからないなど、「よくわからない病気の診療」も行っています。

外来診療を中心に行っていますが、不明熱など必要に応じて入院診療も行っており、院内・院外を問わず専門科診療が必要な場合は連携して診療にあたっております。

今後は総合的視点を持った医師の育成のため、研修医教育にも力を入れていく予定です。

スタッフ紹介



鈴木 聡
(医長、平成14年北海道大学卒)

消化器内科から転向。江別市立病院で総合内科研修を行い、現在に至る。40カ国にわたる海外渡航歴を持つ。



鈴木 啓子
(出張医、平成14年北海道大学卒)

診療の傍ら子育てに奮闘中。茶道、ピアノなど多趣味。

外来担当表

曜日	月	火	水	木	金
担当	鈴木 聡	鈴木 啓子	休診	鈴木 聡	鈴木 啓子

* 受付時間
水曜日休診
月・火・木・金曜日 8:00～11:00
月・火・金曜日 13:00～15:00
木曜日(予約のみ) 13:00～15:00

私の履歴書



皮膚科診療部長

さかい ひろゆき
坂井 博之



平成18年4月から皮膚科診療部長として勤務している坂井博之です。当院着任時は皮膚科固定医が不在であったため、外来も入院も含めて診療体制や医療機器などを整備していく苦労がありました。2年目から常勤医二人制となり、現在では非常勤医師の出張により週2日間(午前のみ)は3人で外来にあたっています。また必要な機器等も少しずつ増えてきて、標準的な皮膚科診療を行えるようになりました。

私は小学校から大学まで旭川市で学生時代を過ごし、昭和62年旭川医大卒業後に皮膚科学専攻を選択して大学医局に入局致しました。入局後の大学付属病院以外の勤務先は北見赤十字病院、士別市立病院、深川市立病院などがあり、当院の直前は旭川厚生病院でした。学会認定専門医は、平成5年に日本皮膚科学会の皮膚科専門医、平成17年に日本アレルギー学会のアレルギー専門医を修得しています。道内には皮膚科専門医もアレルギー専門医も多くの先生がいらっしゃいますが、両方持っているのは数名程度です。学位は、グルコルチコイドの培養マスト細胞における増殖とレセプター発現の影響に関する論文で取得致しました。学位論文も含めて筆頭論文は、そのほとんどが症例報告の範疇ですが、邦文で27編、英文で11編あります。この中で最も印象的だったのは、東大雪の山奥にある温泉(いわゆる秘湯)で感染した謎の寄生虫の症例で(Multiple papules and nodules on the face and neck caused by the larvae of an unknown nematode: a noncreeping type eruption. J Am Acad Dermatol 2008;58:668-70)、頭部顔面に寄生虫が含まれる結節が多発し、合計15個の病変を切除しました。最終的には駆虫剤の内服で鎮静

したのですが、過去に全く経験のない奇妙な症例で対処には難渋しました。秘湯では、熊以外にも危険な目にあう可能性があるという実例でした。私自身も温泉は好きで休日に車で出かけることがあります。お金をはらって入浴するところには行きません。

皮膚科の診療範囲を内科的な領域と外科的な領域に大別すると、内科的な疾患としては接触皮膚炎やアトピー性皮膚炎、乾癬などのアレルギー性あるいは炎症性皮膚疾患が代表的です。一方、外科的なものには、褥瘡、熱傷、皮膚腫瘍などが含まれます。旭川医大には形成外科教室がなかったことから外科的な治療もある程度こなしています。その結果、比率的に入院患者は外科的疾患の方が多いのが現状です。なお、もっと多いのが蜂窩織炎などの感染症の系統です。

アレルギー性皮膚疾患は原因アレルゲンが不明で難治性となることがあります。このような場合は原因検索を行い確定することが、ある意味で根本治療となり得ます。身の回りの思いがけない環境抗原が原因であったり、意外に薬疹であったりすることもあります。一目見て原因が判明することも時にはありますが、多くは色々考えながら原因を見つけていくという仕事です。こういう作業も好きでやっていますので、悩ましい症例などありましたらご紹介頂けると幸いです。

手術支援ロボット

ダ・ヴィンチ

を導入しました

当院では、昨年9月11日にダ・ヴィンチを用いた「ロボット支援手術」の初症例を行い、これまで10件無事に終了しまし

た。ロボットによる手術と申しましても、ロボットが勝手に手術を行うわけではありません。執刀医がコントローラーによってロボット鉗子を操作するのですが、通常の腹腔鏡手術の鉗子操作に比べ、手ぶれのない正確な操作が行えます。多関節であるため鉗子の可動性も大きく、縫合操作等で有利です。内視鏡も10倍の拡大視野でなおかつ3D画像のため視認性に優れており、これらの結果として従来の腹腔鏡手術に比して、より精密・正確な手術が行えます。

これまで当科では、開放手術に比して低侵襲である腹腔鏡手術に積極的に取り組んできました。創が小さい、出血が少ない等、低侵襲性については優れていますが、術式によっては手術操作の難易度が高く、精密さに課題が残る場合があります。このダ・ヴィンチは上記のように鉗子操作性を高めることによって、腹腔鏡手術の短所を補い長所をより伸ばすと言えます。前立腺全摘においては、低侵襲性のみならず、癌の根治性の向上や術後尿失禁の軽減に大きく寄与しています。

アメリカでは前立腺全摘除術の9割以上がこのロボット支援手術となっています。日本では2012年7月に前立腺全摘除術がロボット支援手術の保険適応となり、それ以来急速に普及し、現在すでに170台以上が国内で稼働し世界第2位の導入国となっています。現時点では国内では前立腺全摘除術のみが保険適応ですが、今後、他手術にも適応が広がることが期待されます。

当院では、ダヴィンチシステム自体は昨年6月に納

入されました。それに先立つ2月から、執刀医師のみならず、臨床工学技士、手術室看護師、麻酔医などで構成する操作チーム(ダヴィンチチーム)を結成し、安全な運用を行うべくトレーニングやシミュレーションを徹底的に行った上で、実際の手術に臨みました。その成果として、これまでの10症例とも大きな運用トラブルなく行えており、手術時間も順調に短縮できております。患者さんの術後経過も極めて順調で、癌の根治性・術後尿禁制も概ね良好です。当院として、優れた手術装置であることを改めて実感している次第です。今後も、安全・正確・迅速な手術遂行に努めていきたいと思っております。

これまで、症例をご紹介いただきました御施設様には、この場をお借りしましてお礼申し上げます。

今後も患者さんはもとより、地域医療に貢献すべくチーム一同、鋭意邁進していく所存です。該当する患者さんがいらっしゃいましたらぜひご紹介いただきますよう、何卒よろしく願いいたします。何かご不明の点がございましたら、いつでもお問い合わせください。

泌尿器科診療部長 望月 端吾



外来受付時間案内

※診療日 月曜日～金曜日 【曜日指定があるものは除く】

※休診日 土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始

	午前	午後
内科各科 (糖尿病センター外来 含む)	8:00～11:00	
消化器病 センター外来	8:00～11:00	13:00～15:00 (月曜日を除く)
総合内科	月・火・木・金曜日 8:00～11:00	月・火・金曜日 13:00～15:00 木曜日(予約のみ) 13:00～15:00
外科	8:00～11:30	
耳鼻咽喉科	8:00～11:00	月・金曜日 13:30～15:00 水曜日(初診のみ) 13:00～14:00
産婦人科	月・火・水・金曜日 8:00～11:30	木曜日のみ 12:30～15:30
小児科	8:00～11:00	13:00～16:00
眼科	8:00～11:30 (水曜日休診)	月曜日のみ 13:00～15:00

	午前	午後
放射線科	月・水・木・金曜日 8:00～11:00	
皮膚科	8:00～11:30	月・水・金曜日 14:00～16:00
整形外科		月曜日 14:00～15:00 (紹介・予約のみ) 水・金曜日 13:00～15:00
精神神経科	8:00～11:30 (初診は予約制)	
泌尿器科	8:00～11:30	
胸部外科	8:00～11:00 (水曜日休診)	
麻酔科	月・水・金曜日 8:00～11:00	
歯科口腔外科	8:00～11:00 (初診は紹介患者様のみ)	

特殊専門外来診療時間案内

特殊専門外来		診療日	診療時間	備考
内科	ペースメーカー外来	水曜日	14:00～16:00	2階胸部外科外来にて診察
外科	乳腺外来	月曜日	13:00～15:00	
産婦人科	母親学級	3回/月	—	事前に予約が必要
	不妊外来	1回/月	—	
	女性スタッフ外来	第2・4木曜日	9:00～11:00	
小児科	心臓外来	第2水・木曜日	9:00～16:00	
	川崎病外来	火曜日	13:00～16:00	
	腎臓外来	偶数月の第4週水曜日	13:00～16:00	
	血液外来	第4木曜日	13:00～16:00	
	神経外来	金曜日	13:00～16:00	事前に予約が必要
	1ヶ月健診	第1・3木曜日	13:00～16:00	
	食物アレルギー外来	第3水曜日	13:00～16:00	事前に予約が必要
精神神経科	思春期外来	月・水・木曜日	8:30～11:30	初診は木曜日のみ(予約制)
緩和ケア外来		月・水・金曜日	10:00～13:00	事前に予約が必要(月・水は入院患者優先)
女性専門外来				平成21年4月1日から当分の間休診
看護専門外来	リンパ浮腫外来	木曜日	13:00～17:00	事前に予約が必要
	スキンケア外来	火・金曜日	13:00～17:00	事前に予約が必要
	糖尿病フットケア外来	月～金曜日	8:30～17:00	事前に予約が必要

※ 事前に予約が必要な診療科を受診する場合には、下記までご連絡下さい。

市立旭川病院
代0166-24-3181

地域医療機関の皆さん、

「たいせつ安心 i 医療ネット」に参加しませんか。

旭川地域では旭川市医師会が中心となり、より良い医療の提供を目的に、患者さんの診療情報を地域の医療機関で共有する仕組みを作り、4月1日から運用開始しました。

本ネットワークは、高度なセキュリティ管理の下、かかりつけ医療機関と基幹病院をネットワークで結び、基幹病院が保有する診療情報（カルテ、検査データ、画像情報など）を、患者さんの同意を前提にかかりつけ医療機関が閲覧することで、日常の診療に役立てることができます。

現在、100の医療機関（医科）がたいせつ安心 i 医療ネットに参加しています（12月17日現在）。

各医療機関の手続きの流れ

- ①入会申込書（医師会へ提出・承認）
- ②機器のセットアップ（PCインターネット環境、ウイルス対策ソフトなど）
- ③紹介する患者さんより同意書取得
- ④情報提供病院へ患者さん紹介（紹介状に同意書添付）
- ⑤情報提供病院（紹介先）で同意書受理（患者ID登録、カード発行、公開設定）
- ⑥診療情報参照可能

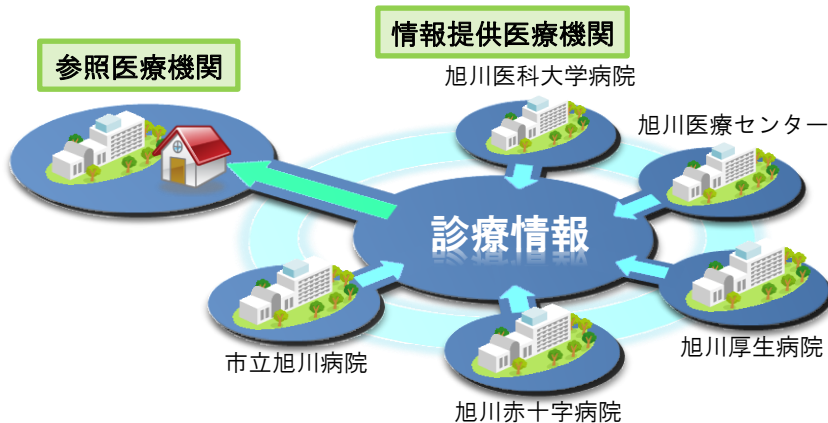
情報提供医療機関

旭川医科大学病院
旭川医療センター
旭川厚生病院
旭川赤十字病院
市立旭川病院

画像情報提供医療機関

深川市立病院
富良野協会病院
留萌市立病院

たいせつ安心 i 医療ネットイメージ図



医療ネットカード



編集後記

新年あけましておめでとうございます。
昨年12月から上川地方は、平年より小雪で年が明けても平穏な天候で推移し、雪はねも少なく運動不足みではないでしょうか。これからは寒さが厳しくなると思いますが体調管理に気を付け、この冬を乗り切りましょう。

今年もどうぞよろしくお願いたします。

市立旭川病院 地域医療連携課
〒070-8610
旭川市金星町1丁目1番65号
TEL 0166-24-3181（内線5370）
FAX 0166-26-0008
E-mail renkei@city.asahikawa.hokkaido.jp

★詳細・お問い合わせは当院地域医療連携課へ
TEL 0166-72-4002（直通）